

平成23年度

事業報告書及び附属明細書

平成23年度事業報告及び附属明細書

事業概要

我が国の経済は、東日本大震災、原発事故、急速な円高、厳しさが続く雇用情勢に加え、世界経済の不安など、依然予断を許さない状況が続いています。

こうした中、高齢者の働く環境は一段と厳しさを増し、川崎市においてもその支援策のあり方が喫緊の課題となっており、その一翼を担う財団法人川崎市シルバー人材センター（以下「センター」と言う。）に就業機会の確保を求める声は非常に高くなっています。

平成23年度の事業実績を概観すると、会員数は4,933人で、前年度の4,982人に比べ49人（約1.0%）減少しました。また、契約金額は、約10億5,866万円となり、前年度の約10億9,950万円に比べ約4,084万円（約3.7%）の減少となりました。これは長期にわたる景気の低迷による企業からの発注減と新公益法人移行認定への取り組みから県外受注の見直しなどによるものと考えられます。しかし、受注件数では昨年度を92件上回る7,618件（約1.2%）と伸ばすことができました。

平成23年度の主な事業の取り組みは、センターの主要な事業指針となる第2次中期計画の2年次として、1つに、会員の増強と育成は、新規会員の募集と女性の入会促進とともに研修会の充実、地域班及び職群班の活動に努めました。2つに、就業機会の拡大・受注の開拓は、家事援助・地域サポート事業の推進を図り、諸活動と連携により就業機会の新たな創出に努めました。3つに、安全・適正就業の徹底は、安全・適正就業委員会等の活動や安全講習会・研修会の開催など、その取り組みの強化に努めました。4つに、事業推進体制の強化は、補助金等の削減から厳しい財政運営を鑑み、自立的な経営を目指した取り組みと、簡素で効率的な事業執行に努めました。5つに高齢者の就労支援は、無料職業紹介事業や労働者派遣事業、社団法人神奈川県シルバー人材センター連合会主催事業への協力などの取り組みに努めました。6つに、新公益法人制度への移行は、公益財団法人への移行に向け、準備作業を進め、7月に神奈川県知事に移行認定申請を行い、同年12月に県公益認定等審査会から県知事に答申があり、平成24年3月に県知事から「公益財団法人として認定する。」との認定書を受領し、同年4月1日に公益財団法人に移行することになりました。

また、川崎市福祉センター再編整備基本計画により、6月に本部・南部事務所を暫定的に川崎市福祉センターへの移転を行い、更に、12月には中部事務所の老朽化に伴う改修工事によりリニューアルするなど、会員及び職員の実環境整備が図られました。

センターは、これからも活力ある地域社会への大きな貢献が求められる状況を十分に認識し、引き続き会員、役職員一丸となって事業推進に取り組んでまいります。

1 会員の増強と育成

(1) 会員増強

会員登録を希望する高年齢者に対し、会員による口コミ、ホームページの掲載等を通して新規会員を募集するとともに、地域班活動によるチラシの配布を実施し、更に重点事業である女性の入会促進を図るなど会員増強に努めました。

なお、新規会員の入会動機は「生きがい・社会参加」が29.6%と最も高く、次いで「経済的理由」の順となっています。

◇会員数及び就業実績

	平成22年度	平成23年度	対前年度比 (%)
会 員 数	4,981人	4,933人	99.0
就 業 実 人 員	2,301人	2,182人	94.8
就 業 延 日 数	273,394人	264,256人	96.7
配 分 金 額	1,001,424千円	966,233千円	96.5
1人月平均就業日数	9.9日	10.0日	101.0
1人月配分金額	36,267円	36,901円	101.7
就 業 率	46.2%	44.2%	—

◇会員の状況

	平成22年度末 会員数	入会員数	退会者数	平成23年度末 会員数	対前年度比 (%)
男	3,499人	601人	704人	3,396人	97.0
女	1,482人	325人	270人	1,537人	103.7
計	4,981人	926人	974人	4,933人	99.0

◇入会動機

	生きがい、 社会参加	仲間作り	時間的余裕	健康維持・増進	経済的理由	その他	計
男	178人	19人	112人	143人	146人	3人	601人
女	96人	3人	50人	73人	100人	3人	325人
合計	274人	22人	162人	216人	246人	6人	926人
割合	29.6%	2.4%	17.5%	23.3%	26.6%	0.6%	100.0%

(2) 各種講習会及び研修会の実施

就業に必要な基礎的な知識や技能を身に付け、会員のスキルアップを図るため講習会及び研修会を実施しました。

また、今日的な社会問題となっている、正しい認知症の知識を修得するための「認知症サポーター養成講座」を引き続き開催し、多くの参加会員から好評を得ました。

◇講習会、研修会実施状況

講習名	開催日	内 容	参加人数(人)	会 場
除草講習会(※)	9/16	除草会員の育成	13	(社福)春日会・特養老人ホーム等々力
	10/14		11	子ども支援センターすがお
調理講習会	2/9	講義・調理実習	18	てくのかわさき
子育て支援講習会	12/13	子どもの怪我と安全等	16	川崎市福祉センター
認知症サポーター養成講座	2/23	認知症の知識等	36	川崎市福祉センター
接遇研修会	7/21	就業時のマナー習得等	24	川崎市福祉センター
	11/14		44	エポックなかはら

(※)・・・会員が講師を務めた講習会

(3) 地域班活動の実施

地域班活動は、2年目を迎え16地区の班長及び副班長を中心に、全体連絡会議と事務所連絡会議を開催するなど活動を通して連携強化に努めました。

◇地域班設置状況

区	設置班数	班長数(人)	地域班名
川 崎 区	3	3	川崎区北・川崎区東・川崎区西
幸 区	2	2	幸区東・幸区西
中 原 区	2	2	中原区東・中原区西
高 津 区	2	2	高津区北・高津区南
宮 前 区	2	2	宮前区北・宮前区南
多 摩 区	3	3	多摩区北・多摩区東・多摩区西
麻 生 区	2	2	麻生区北・麻生区南
合 計	16	16	

◇地域班全体連絡会議開催状況

内 容	開催日	参加人数(人)	会 場
第1回 ①平成22年度実施報告について ②平成23年度実施計画について	5/26	13	センター多目的会議室
第2回 ①平成24年度実施計画について	3/28	13	川崎市福祉センター

◇事務所連絡会議開催状況

事務所	内 容	開催日	参加人数（人）
南 部	①平成23年度地域班活動について ②チラシ配布について ③平成24年度の班体制について	2/17	9
中 部	第1回 ①第1回地域班全体連絡会議の報告 ②中部事務所地域班の状況について ③中部事務所地域班活の活動について	10/27	6
	第2回 チラシ配布について	2/21	7
北 部	第1回 ①第1回地域班全体連絡会議の報告 ②活動計画の策定について	7/28	9
	第2回 ①チラシ配布活動について ②区民まつり参加について ③県安全就業標語、ヒヤリハットについて	9/29	9
	第3回 ①チラシ配布活動について ②区民まつり等事業報告について	2/16	9

(4) 職群班活動の実施

職群班活動は、植木班及び除草班を中心に各事務所で自主的な運営に努めました。また、地域サポート班は南部・中部事務所で会員間の意見交換を行いました。新たな試みとして、大工、塗装会員等から構成する「リフォーム班」の設置に向けて中部事務所で説明会を行いました。

◇職群班活動状況

職 群 班	内 容	開催日	事務所
植 木 班	植木新人説明会	4/23	南 部
	植木グループリーダー会議	8/19	
	植木班会議	3/22	
	植木新人説明会	9/22	中 部
	植木グループリーダー会議	8/9・3/15	
	植木班長連絡会議	2/22	
	植木班会議	1/17・2/1・3/15	
	植木グループリーダー会議	2/10・3/16	北 部
植木班会議	3/16		
除 草 班	除草班グループリーダー会議	8/19	南 部
	除草班会議	3/22	中 部
	除草作業希望者説明会	10/25・11/15	
	除草班班長連絡会議	2/22	
	除草班グループリーダー会議	3/21	
	除草班会議	3/21	北 部
	除草班グループリーダー会議	2/24	
除草班会議	2/24	北 部	
地域サポート班	地域サポート班説明会	9/29	南 部
	地域サポート班会議	11/19	中 部
リフォーム班	リフォーム班会議	2/13	中 部

2 就業機会の拡大・受注の開拓

(1) 家事援助・地域サポート事業の推進

ア 福祉・家事援助サービス事業の推進

引き続き、家事援助サービスのコーディネーターを各事務所に1人、計3人を配置し、福祉・家事援助サービスの受注の拡大と運営体制の整備に努めました。

また、発注者のニーズに応えるため、会員とのきめ細かな調整を行うとともに、相談対応や事務所単位の懇談会の実施、更に家事援助全体会議を開催し、就業マニュアルの策定、エプロンの配布等会員への就業推進の環境整備に努めました。その結果、受注件数、延人員及び契約金額のいずれも増加となりました。

◇福祉・家事援助サービス事業実績

	平成22年度			平成23年度			
	受注件数 (件)	延人員 (人日)	契約金額 (円)	受注件数 (件)	延人員 (人日)	契約金額 (円)	対前年度比 (%)
福祉サービス 身の回りの世話・話し相手等	27	4,919	19,179,281	34	5,477	21,885,154	114.1
家事援助サービス 家庭内清掃・洗濯・料理等	387	8,601	25,157,872	485	8,657	24,699,816	98.2
子育て支援サービス 保育園の送迎等	34	3,308	10,315,344	44	3,592	10,705,827	103.8
介護予防・地域支え合サービス 市町村委託の高齢者等の生活支援事業全般	7	404	3,408,120	4	413	3,498,840	102.7
合計	455	17,232	58,060,617	567	18,139	60,789,637	104.7

イ 地域サポート事業の推進

少子高齢化が急速に進む中、市内における高齢者一人世帯や高齢者のみの世帯が年々増加しており、日常の困りごとをサポートするサービスとして、会員（たすかめ隊）が作業を行い、高齢者が安心して暮らしていくための一助となっています。

◇地域サポート事業活動状況

【事業内容】 浴槽の清掃、家具の移動、電球・蛍光灯の交換、窓ガラス拭きなど

	平成22年度	平成23年度	対前年度比 (%)
受注件数	214件	341件	159.3
就業実人員	65人	84人	129.2
契約金額	1,533,622円	2,263,081円	147.5

(2) 独自事業の推進

独自事業は、会員が培ってきた専門的技術や技能を講習会等の講師として役立て、併せて広く市民に還元していくことを目的に実施しています。

引き続き需要の多い「パソコン講座」を開講して実施しましたが、本部事務所の移転のために、6月をもって閉講しました。

また、新たに「ちぎり絵教室」を開催しました。

◇独自事業の実施状況

教室名	内容	実施回数(回)	延参加人数(人)	会場
パソコン講座	個別指導	22	66	センター多目的会議室
ちぎり絵教室	和紙のちぎり絵・ポストカード作成の指導	1	8	北部事務所作業所
合計		23	74	

(3) 就業の場の拡大

役職員、就業機会創出員及び会員が一体となって新規事業の受注開拓に努めてきたところですが、受注件数は増加したものの、長期にわたる景気の低迷による企業からの減に加えて新公益法人移行認定への取り組みから県外受注の見直し及び本部事務所移転の独自事業の減などで、契約金額は対前年度比で約3.7%の減となりました。なお、職群別では、「技能」「事務」「管理」「折衝・外交」などの分野で減少しました。

◇発注者別契約実績

	平成22年度			平成23年度			
	受注件数(件)	契約金額(円)	構成比(%)	受注件数(件)	契約金額(円)	構成比(%)	対前年度比(%)
公共	230	119,462,415	10.9	254	124,033,151	11.7	103.8
企業	1,310	810,605,708	73.7	1,298	764,341,211	72.2	94.3
個人	5,886	168,699,986	15.3	6,021	170,229,594	16.0	100.9
独自事業	38	738,021	0.1	3	58,090	0.1	7.9
合計	7,464	1,099,506,130	100.0	7,576	1,058,662,046	100.0	96.3

◇職群別契約実績

	平成22年度			平成23年度			
	受注件数(件)	契約金額(円)	構成比(%)	受注件数(件)	契約金額(円)	構成比(%)	対前年度比(%)
技術 各種講師・経理事務 自動車運転等	104	62,181,347	5.7	84	63,336,856	6.0	101.9
技能 植木・大工・塗装・換 障子の張替等	3,259	106,297,636	9.7	3,323	101,490,194	9.6	95.5
事務 伝票整理・受付事務 宛名書き・筆耕等	96	25,293,771	2.3	72	20,947,369	2.0	82.8
管理 駐輪場管理 放置自転車対策業務 施設管理・商品管理等	202	341,602,419	31.0	191	305,368,191	28.8	89.4
折衝・外交 販売・配達・配布等	75	18,430,312	1.7	49	16,895,743	1.6	91.7
軽作業 清掃・草取り・草刈り かごカート整理等	3,265	484,974,646	44.1	3,285	487,097,277	46.0	100.4
サービス 家事援助・子育て支援 福祉施設等での仕事等	463	60,725,999	5.5	572	63,526,416	6.0	104.6
合計	7,464	1,099,506,130	100.0	7,576	1,058,662,046	100.0	96.3

(4) 就業機会創出活動

ア 就業機会創出員による受注開拓

引き続き、就業機会創出員を1人配置し、年間を通して計画的に市内の企業、福祉施設及び保育園等の訪問活動を行い、既存受注先の受注拡大及び新規受注の開拓に取り組みました。

◇就業機会創出員活動状況

創出員数 (人)	活動日数 (日)	訪問箇所 (件)		
		新規	既存	計
1	129	695	143	838

イ 会員による受注開拓

地域班の具体的な活動の一環として、センターのPR用チラシの配布を企業及び個人に実施し、受注開拓に努めました。

◇配布活動状況

事務所	実施期間	実施地区	参加人数 (人)	配布枚数 (枚)
南 部	2 / 2 1 ~ 3 / 3 1	川崎・幸・中原区	10	4,235
中 部	1 1 / 2 5 ~ 1 1 / 3 0	高津・宮前区	4	1,925
	1 2 / 1 ~ 1 2 / 1 3	高津・宮前区	5	2,460
	1 / 5 ~ 1 / 6	宮前区	1	650
	2 / 2 2 ~ 2 / 2 8	高津・宮前区	3	1,875
	3 / 1 ~ 3 / 2 8	高津・宮前区	5	3,170
北 部	8 / 1 9 ~ 8 / 3 1	多摩・麻生区	9	4,500
	1 0 / 4 ~ 1 0 / 2 8	多摩・麻生区	10	5,617
	2 / 1 7 ~ 2 / 2 9	多摩・麻生区	10	4,495
合 計			57	28,927

ウ ダイレクトメール発送による受注開拓

10月のシルバー人材センター事業普及啓発促進月間に合わせ、市内の企業に当センターのリーフレットを送付し、新規の受注開拓に努めました。

(5) 広報活動の充実

ア 広報媒体を活用したPR

川崎市健康福祉局の広報紙「楽笑」(1万部発行)に地域サポート事業募集広告を掲載し、また、地域広報紙「タウンニュース」(30万部発行)、及び(財)川崎市保健衛生事業団の広報誌「かわさき健康づくりセンター通信」(5千部発行)などを活用したPR活動も行いました。

イ インターネットの活用

センターのホームページに講習会の開催状況や事業計画及び財務情報、会報「シルバーかわさき」を随時更新するとともに、各事務所をわかり易く案内した検索機能を追加するなど、より利用しやすいホームページに改善しました。

ウ 区民祭等地域イベントへの参加

各区で開催される区民祭や地域活動に参加し、受注開拓や会員募集などセンター事業のPR活動に努めました。

【参加区】 幸、宮前、麻生（計3区）

【その他】「介護予防いきいき大作戦」（エポックなかはら）

エ 市内ボランティア清掃活動

会員相互の交流を図るとともに、地域社会への貢献とセンターの活動をPRするため、川崎市の統一美化運動と連携し、市内の主要各駅でボランティア清掃を実施しました。

また、シルバー人材センター事業普及啓発促進月間に合わせ、大師公園で清掃活動を実施しました。

◇市内ボランティア清掃活動の実施状況

実施地区	清掃場所	開催日	参加人数（人）
川崎区	大師公園	10/24	18
	川崎駅（東口）	9/25	14
幸 区	川崎駅（西口）		10
高津区	武蔵溝ノ口駅		31
麻生区	新百合ヶ丘駅	9/22	18
合 計			91

オ いきいき健康ウォーキング大会の開催

新たな試みとして、シルバー人材センター事業普及啓発促進月間に合わせ、事業の普及啓発、会員の親睦等を目的にウォーキング大会を多摩区内で開催しました。

長尾・生田の名所旧跡を訪ねボランティアガイドの説明など、計画されたコースをめぐりました。

【開催日】平成23年10月28日（金）

【コース】JR 宿河原駅（集合）～二ヶ領用水～妙楽寺～長尾神社～ばら苑～日本民家園（解散）

【参加者数】19人

(6) 情報の収集・提供

ア 会報誌の充実

会報「シルバーかわさき」は、会員編集委員が主体的な企画、取材及び編集活動により、年4回発行しています。センター事業の状況、事務所の会員諸活動を紹介するなど、会員間の絆を深める情報誌として、全会員、関係機関に配布しました。

◇会報の発行実績

内容 \ 号数	第42号	第43号	第44号	第45号
発行月	平成23年4月	平成23年7月	平成23年10月	平成24年1月
発行部数	5,500部	5,000部	5,000部	5,500部

3 安全・適正就業の徹底

(1) 安全・適正就業の推進

ア 安全・適正就業委員及び事務所安全・適正就業対策員の活用

安全・適正就業委員会及び事務所安全・適正対策会議を開催し、実施計画の策定、活動報告及び事故発生の分析等を行いました。また、転落による重篤事故が起きやすい植木現場を中心に巡回指導を実施し、ヘルメット、安全帯の着用及び三脚・脚立等の器材の安全性についての確認や注意喚起を行いました。

11月には(社)神奈川県シルバー人材センター連合会主催の安全就業推進員研修会に参加し、安全教育に係る実践的研修や参加者との意見交換を行いました。

◇安全・適正就業委員会等の活動状況

事務所	内 容	開 催 日
本 部	安全・適正就業委員会	6/20・2/20
南 部	安全・適正対策会議	9/29・3/23
	安全・適正就業対策巡回指導	2/6
中 部	安全・適正対策会議	7/28・10/27・3/12
	安全・適正就業対策巡回指導	2/16・3/13
北 部	安全・適正対策会議	7/29・3/23
	安全・適正就業対策巡回指導	6/14・7/22・11/22・2/17・2/20

イ 事故発生状況

安全就業に向け、就業先への巡回指導、安全就業の啓発活動等の取り組みを行いました。昨年度は傷害事故が増加したことを教訓に、事故の未然防止に向けた取り組みを強化した結果、会員傷害事故、賠償責任事故はともに昨年度より7件減という成果を上げることができました。

◇ 事故発生状況 (件)

項 目	平成22年度	平成23年度
会員傷害事故	19	13
賠償責任事故	11	10
合 計	30	23

(2) 安全講習会の開催

神奈川県警察本部交通安全教育隊、神奈川県安全防災局くらし安全交通課、麻生警察署交通課の協力を得て、高齢者の交通事故が増加している状況を踏まえ、就業途上の交通安全講習会と自転車シュミレーターの実技などの講習会を開催しました。

◇安全講習会の実施状況

講習会名	内容	実施日	延参加人数(人)	会場
交通安全講習会(第1回)	歩行時の注意事項等	7/21	24	川崎市福祉センター
交通安全講習会(第2回)	歩行時の注意事項等	11/14	44	エポックなかはら
交通安全講話	交通安全DVD上映等	入会説明会(12回)	241	北部事務所会議室
自転車シュミレーター講習会	自転車運転時の危険予測、ルール等	12/16	13	北部事務所作業室
合計			322	

(3) 安全就業に向けた取組強化

職群班会議等を通して、会員の安全意識の向上を図るとともに、安全就業に関する標語を募集し、入選作品を表彰するとともに、会報誌に掲載をし、標語入りポスターを作成し各事務所に掲出しました。また、事故の発生状況や会員が執筆した「私の健康法」を毎回会報誌に掲載するなど、啓発活動の強化に取り組みました。

4 事業推進体制の強化

(1) 財政基盤の強化

ア 会員登録手数料の徴収

会員の登録に要する費用の負担をお願いする会員登録手数料制度により、年間で約93万円の実績を上げることができ、センターの自主的・自立的な経営に努めました。

イ 受注件数の増大

長期にわたる景気の低迷の中で、受注額は昨年度を下回りましたが、センターの財政基盤の安定化を図るため、比較的景気動向に左右されない公共事業の受注件数の増加に努めました。

また、公共事業の新たな受注の確保と拡大を図るため、随意契約に加え引き続き「競争入札」の登録に参加しました。

(2) 第2次中期計画の進行管理

「第2次中期計画」の2年次を迎え、計画事業の進行管理を行い、計画目標値の達成に努めましたが、いずれの項目も達成を下回りました。

なお、会員数は会員の意思確認調査を実施したことにより、多くの退会者が出ました。

◇第2次中期計画達成状況

項目	目標値	実績	達成度
会員数(人)	5,700	4,933	86.5%
契約金額(円)	1,122,000,000	1,058,662,046	94.4%
受注実績(件)	7,600	7,576	99.7%
就業実人員(人)	2,850	2,182	76.6%

(3) 会員の自主活動への支援

会員の親睦や仲間づくりの場として、会員が自主的に行う趣味などサークル活動への支援を行いました。

◇開催状況

事務所	活動サークルの名称	開催数(回)	延参加人数(人)	場所
中部	絵画同好会	22	110	中部事務所会議室
北部	歴史講座	1	20	北部事務所会議室

5 高齢者の就労支援

(1) 無料職業紹介事業の実施

就業を希望する高齢者の求職活動を支援するため、ハローワークや市労働経済局と連携し、事業紹介リーフレットを常備するなど、高齢者の様々な就業ニーズに合わせた相談窓口として運用しました。

(2) 労働者派遣事業の推進

発注者の要請等に応えるため、派遣元事業主である(社)神奈川県シルバー人材センター連合会と連携し、事業に係る情報交換等に努めました。

(3) シニアワークプログラム事業(SP事業)への協力

高齢者の雇用就労対策として、(社)神奈川県シルバー人材センター連合会が主催するSP事業(技能講習)に協力し、高齢者の就労を支援しました。

◇実施状況

講習名	内容	開催日	受講者	会場
警備講習会	警備業務に係る基礎的な知識の習得と実技等	8/22~9/8 (8日間)	30名	エポックなかはら
家事援助講習会	福祉サービスの基本、サービス利用者理解等	9/13~9/30 (8日間)	25名	川崎市産業振興会館
マンション管理業務講習会	建物・諸設備の維持管理、マンションの清掃実技等	9/12~10/14 (14日間)	30名	かわさき健康づくりセンター他

(4) シニア就業支援プログラム事業（SSP事業）への協力

センターの会員拡大と就業活動の支援を目的に、(社)神奈川県シルバー人材センター連合会が主催するSSP事業に協力し、講座を開催しました。

◇実施状況

名 称	内 容	開催日	受講者	会 場
認知症サポーター養成講座	認知症についての知識、予防等	2/23	36名	川崎市福祉センター

6 新公益法人制度への移行

センターは、事業運営の主旨から、公益性が高く、社会的に高い信頼性を得ることができる公益財団法人への移行に向け、関係団体等と連携しながら準備作業を進め、7月に移行認定申請を神奈川県知事に行い、12月に県公益認定等審査会から「認定の基準に適合すると認めるのが相当である。」と県知事に答申があり、平成24年3月に県知事から「公益財団法人として認定する。」との認定書を受領し、同年4月1日から公益財団法人に移行することになりました。

7 その他

(1) 個人情報の保護及び情報の開示

センター事業の運営上必要となる登録会員や発注者に係る個人情報について、関係法令や当センターの「個人情報保護方針」等を遵守しながら、適正な取扱いを行うとともに、インターネット・ホームページを活用してセンターの財務等の情報の開示を行いました。

(2) 本部・南部事務所の移転

「川崎市福祉センター再編整備基本計画」により、センターの設置場所が再編整備用地の一部となることから、暫定的な措置として、本部・南部事務所を川崎市福祉センター内に移転することになり、6月18日（土）に移転を完了し、業務を中断することなく、6月20日（月）から平常業務を履行しました。

なお、旧本部・南部事務所は平成24年3月に解体し、現状回復した後、土地は川崎市に返還しました。

(3) 中部事務所の整備

会員及び職員の環境整備を図るため、老朽化した中部事務所の改修工事を10月14日（金）に着手し、11月26日（土）に事務室を2階から1階へ移し、業務を中断することなく、11月28日（月）から平常業務を履行しました。

また、2階に二つの会議室を設けるなど、会員間の交流の場の確保し、12月28日（水）に竣工しました。

(4) 調査研究等の実施

県下ブロック会議や他のシルバー人材センターとの積極的な交流を通じ、先進的な事業運営状況を広く調査研究し、センター事業の効果的で効率的な運営に努めました。

◇実施状況

名 称	内 容	日 程	会 場
第1回 横浜・川崎 ブロック会議	全シ協事務局長会議の報告	7/11	相模原市シルバー人材
第2回 横浜・川崎 ブロック会議	補助金削減に伴う職員の採 活用等について等	2/17	横浜市シルバー人材セ
職員人材育成研修会	補助金の削減に対する対応	10/21	神奈川県立かながわ女性センター
職員交流研修会	ハウスクリーニング事業に	12/21	かながわ労働プラザ
横浜市シルバー人材セン ター視察	家事援助サービス事業につ	1/27	横浜市シルバー人材セ